



しおかぜ



よこはましりつうしおだしょうがっこう
横浜市立潮田小学校
2022年8月29日

ゆめ む 夢に向かって

こうちょう こいすみ ひろし
校長 小泉 博史

なが なつやす お けり、きょうからがっこうがさいかいされました。どんななつやすみをすごしたのか、子どもたちに話を聞いてみたいと思っています。

さて、今年も全国高校野球選手権大会が阪神甲子園球場で行われました。各都道府県の代表校が、勝利を自指して全力でプレイする姿には本当に感動します。元高校球児である私も休みの日にはテレビで球児たちの熱戦を見て応援しました。今年は潮田小学校の卒業生が出場していたこともあり、職員の中ではさらに盛り上がっていました。甲子園に出場することは、野球をしている子どもたちにとっては大きな夢です。

その夢をかなえるために多くの努力をします。毎日のようにラッシング、ダッシュ、筋力トレーニングをします。試合中、自分のところに来るか来ないかわからない打球をとるために、毎日何十本ものノックを受けたり、手の豆がつぶれるほどバットを振ったり、うつ練習をしたりします。それでも、各都道府県の大会で試合に敗れ、甲子園出場という夢がかなわない高校球児の方が圧倒的に多いのです。



でも、ほとんどの高校球児は、夢に向かって努力したことを、無駄なことをしたとは思っていないと私は考えます。それは、その努力によって得たものがとても多いことに気付くからです。もちろん野球の技術、精神的な強さ、体の強さを身に付けます。特にチームスポーツで一番大きな財産は、仲間です。共に夢に向かって努力した仲間を得たことは、人生を豊かに生きていくために大きな財産だと思っています。



潮田小の子どもたちにも、夢をもってほしいと思います。大きな夢であっても小さな夢であっても、なりたい自分をはっきりイメージすることが大切です。なりたい自分をはっきりとイメージすることが出来たら、その夢に向かって本気で努力をすることで夢の実現につながっていくと思います。夢が努力する原動力となり子どもが輝くのです。「努力」とは、「力をこめて事をする。あることを成し遂げるために、休んだり怠けたりすることなく、つとめ励むこと。また、それに用いる力。」(精選版 日本国語大辞典)と書いてありました。夢を実現させることは簡単なことではありません。夢が大きければ大きいほど、たくさんの努力が必要になってきます。もしかするとかなわない夢があるかもしれません。しかし、本気で努力した子どもは、決して無駄ではないことを必ず実感します。高校球児のように、大きな何かを得られるのですから。

ご家庭でも、夢について、お子さんと話し合ってみるのはいかがでしょうか。ご家族の方の目指してた夢の話、かなった夢の話。かなわなかった夢の話。どんな話を聞いても、子どもにとってはこれからの人生にとって良い影響があると考えます。夢を語る家庭、学校、地域であり続けたいと思っています。